



競技場等における混雑検知業務委託 (新型コロナウイルス感染症対策事業)

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
警備局 装備調達部

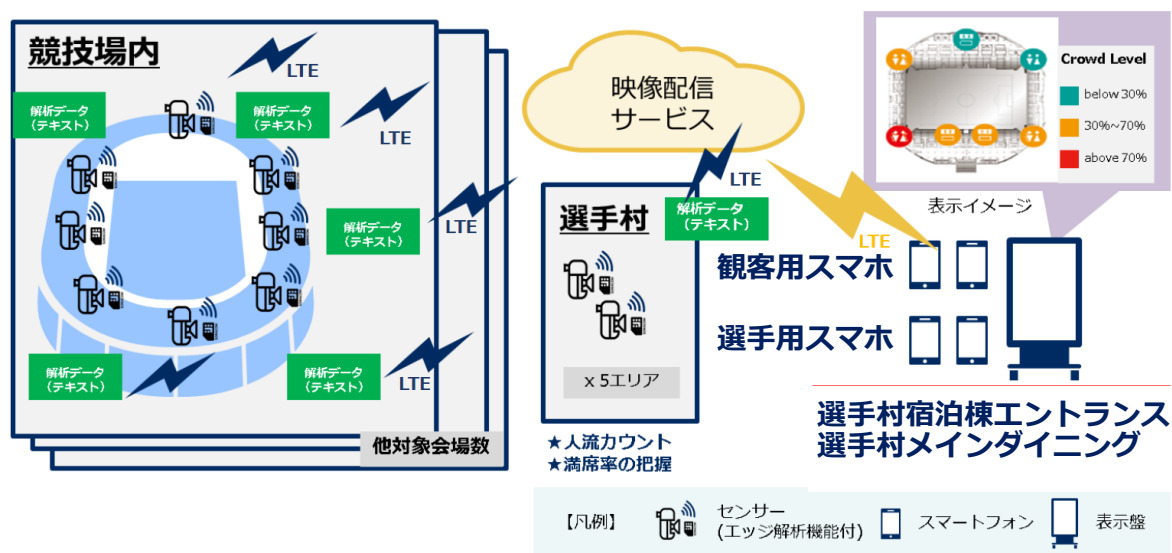
2021年3月30日

1. 審議事項

- 12月2日に発表された「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議 中間整理」に基づき、画像解析技術等を活用した「競技場等における混雑検知（業務委託）」の調達に関してご審議いただきご承認をいただきたい。

競技会場および選手村に混雑度検知システムを導入し、対象箇所の混雑状況を観客等のスマートフォン等へ配信。以下の対応により、競技会場等におけるクラスター発生を未然に防止する。

- ・ 専用アプリケーション等を活用し、スマートフォンや表示装置等で混雑状況を周知
- ・ 警備員等の関係スタッフと連携し、混雑の発生が起これつつある箇所で混雑回避のための注意喚起等に活用



1. 審議事項 (補足)

東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議 中間整理資料より抜粋

第2章 具体的な対策

1. アスリート等に関する対策

選手村におけるアスリート等の感染症対策について

3. 具体的な対策

- ＞ 混雑緩和に向け、座席数削減、クロークの廃止、滞在時間短縮の検討を行う一方、カジュアルダイニング活用、**利用者への混雑状況発信による利用時間分散化**、メニューの事前案内、喫食時間制限などを検討し、サービスレベルの維持に努める

3. 観客に関する対策

(2) 競技場における観客の感染症対策について

3. 具体的な対策

- ＞ 主催者としての基本的な感染防止策の徹底
 - ＞ 【混雑緩和策】

- ・ **会場内や会場入退場口付近における混雑箇所での注意喚起や目視での混雑確認に加え、混雑状況を検知するシステムの導入を検討**

1. 審議事項 (補足)

案件概要

項目	概要	備考
対象会場	オリンピックスタジアム、有明アリーナ、東京アクアティクスセンター、選手村	収容数、セッション数、競技日程等により対象を選定
システム概要	競技会場や選手村に設置するセンサーにより混雑情報を収集・解析し、スマホや表示盤により状況可視化を行う	
感染症対策の期待効果	システムにより可視化された混雑状況を観客・選手に把握してもらい、3密を避けた行動を促すことで、感染防止を徹底する。 また、警備員等の関係スタッフによる注意喚起等やパニックの発生防止などに活用する。	観客の安全等という観点で関係者(VSCC等)でモニタリングし、必要に応じて対応

2. 契約内容

■ 契約先 日本電気株式会社 ※特別契約

■ 特別契約理由 調達カテゴリー（パブリック-ファイア先進製品「行動検知・解析用パブリック-ファイア」）に基づくパートナー供給契約

※同社は2013年に世界初となる混雑状況把握に関する技術を発表し、情報収集・解析・配信を一括したサービス提供を行う等、当該技術のノウハウを保有し短期間での構築が可能

■ 契約期間 契約締結の日～2021年9月30日

■ 執行見込額 V5予算の範囲内

■ 委託業務内容

オリンピックスタジアム、有明アリーナ、東京アクアティクスセンター、選手村の対象箇所において、混雑状況を収集・提供するための機器設置等を行い、運用期間中、会場入場者および選手・関係者に対するサービス提供や、保守サポートを行う。

3.内訳

I. 費用内訳

①機器・システム費用

主な内容

機器レンタル利用料

回線利用料

システム構築

- ・大会本番用にアプリケーション実装用のサーバインフラを構築
- ・大会本番用のネットワーク構築（ファイアーウォール等アクセス設定）
- ・大会のセキュリティ要件に則した対策（不正侵入監視等（常時））
- ・Web画面制作（大会用インターフェイス、選手用、観客用画面等）

設置・撤去作業

②保守サポート費用

オンコール受付、現地保守対応

II. 会場毎センサー・カメラ及び表示機器内訳

	会場				
	センサー・カメラ				表示装置
	外周	トイレ	売店	ダイングほか	
オリンピックスタジアム	8台	58台	39台		
有明アリーナ		8台	12台		
東京アクアティクスセンター		5台	2台		
選手村				36台	23台
合計	8台	71台	53台	36台	23台

4.スケジュール

- ・ 契約後速やかに資材手配に着手する。
- ・ 契約後の導入スケジュールを考慮すると早期に契約が必要

